

大原草紙

第84号
令和5年7月
夏季号

私の大原ベストポジション



上野町 太田眞素巳
散歩コースにて



川沿いの小径が散歩コースの一つです。最近ではカジカガエルの綺麗な鳴き声が聞こえます。たまにカワセミやカワガラスが飛び立つこともあり、注目します。大原はまだ里山の自然が残されているといえるのかもしれませんが。植物の相はかなり変化してはいますが。東の丘の上につとあるおたくの庭先に、すっきりとした樹が立っていて、いいなと思っています。

おそらくカツラの樹だと思うのですが、清々しさのある魅力的な樹です。その樹形は多くは株立ちをして、すっきりと天に伸びていきます。ちなみに葉の形は丸っこいですね。カツラは私の知る範囲では、来迎院の参道口に入ったところに見ることが出来ます。大原ではありませんが芦生の森にみごとにかぶだちした古木が見られ、とても有名です。よく写真に登場します。里山の風景は人々の暮らしの積み重ねの中で創り上げられてきたものかもしれません。それだけに暮らしの変容と共にあるのでしょうか。たまにこうして立ち止まってスケッチしてみますと新たな発見があるようで、気分がリフレッシュいたします。そんな機会を与えていただいて、ありがとうございました。